

Clip-stream 最高の瞬間をクリップ

配信は好きなのに、 なぜショートは 作らないのか？

配信中にボタンをひとつ押すだけ。その前後を自動で切り取り、字幕をつけて、縦型ショートとして投稿まで終わらせます。

OBS配信者のための ショート自動生成ツール



本音

編集する時間が、そもそもない。

ショートが大事ななのは、みんな知っている。作れないのは、やる気の問題ではありません。

“

「切り抜きを作るのが、
いちばん面倒」

配信は楽しいのに、編集だけが苦行になる。

“

「編集しているうちに、
配信する気力が消える」

本業であるはずの配信に、しわ寄せが来る。

“

「大事なのは分かってる。
でも手が回らない」

結果、投稿は月に数本で止まってしまう。

つまりこれは、やる気ではなく「時間」の問題です。

新規の視聴者は、ショートからしか来ない。

同じ動画でも、届け方がまったく違います。

横型動画・アーカイブ

自分でクリックしないと再生されない

届くのは「すでに自分を知っている人」だけ

ショート動画

見ようとしなくても、勝手に流れてくる

近いジャンルを好きな人の「おすすめ」に出る

まだ自分を知らない人にまで届く

ショートで見つかる → チャンネルに来る → 配信を見てもらえる

編集のうまさは、実は関係ない。

凝った演出よりも、その一瞬のほうが強く伝わります。

視聴者が見たいのは、この2つだけ

1

面白かった瞬間

笑った、盛り上がった、その一言。

2

うまくいかなかった瞬間

困った、失敗した、そのリアクション。

この2つを切り出すだけで、伝わります。

よくある誤解

凝った編集をしないと、
見てもらえない。

実際は

面白い瞬間が映っていれば、
それだけで伝わる。

計算してみてください

月20本のショートを、自分で編集すると。

自分で編集する場合

10 時間

1本あたり約30分 × 月20本 = 600分

時給1,000円で換算すると、およそ1万円分の時間

VS

Clip-stream を使う場合

500 円

月額（プランによる） / 編集作業はほぼゼロ

ボタンを押す以外、手を動かすことはありません

浮いた10時間は、そのまま配信に回せます。

やることは、配信中にボタンを1回押すだけ。

OBSのリプレイバッファと連携。配信を止める必要はありません。

1

ボタンを押す

「今、面白かった」と思ったタイミングでワンクリック。

2

前後を自動で切り取る

その瞬間まで遡って、ショートの高さに切り出します。

3

字幕をつけて投稿

縦型ショートとして仕上げ、そのまま投稿まで。

実際の画面（開発中）

クリップを作る

▶ 色を選ぶ

直前を取り消す

配信中に押すのは、この1つのボタンだけ。

- ・色タグを選んでおけば、後から探しやすい
- ・押し間違いは「直前を取り消す」で戻せる

役割分担

あなたは、配信に集中するだけ。

これまで手作業だった工程を、まとめて引き受けます。

Clip-stream が引き受ける作業



面白い場面の切り出し



字幕の生成



縦型レイアウトへの変換



ショートとしての投稿

あなたがやること

ボタンを 押す。

以上です。あとは配信を楽しんでください。

できること

配信のあと、これが全部終わっている。

押した後は自動で進みます。人が手を動かすのは、採るか捨てるかを決めるところだけです。

遡って保存

押した時点の45秒前から確保。
オチの手前で切れない

頭を自動で詰める

話の切れ目まで詰めて出す。実
測53秒→18秒

文字起こし

声をそのまま字幕に。処理は手
元だけで完結する

字幕は4つの調子

通常・強調・叫び・ささやき。
再生しながら直せる

間のカット

喋っていない区間を除く。強さ
は4段から選ぶ

効果音を自動配置

5種を場面に合わせて。1つずつ
切れることもできる

縦型レイアウト

プランに応じて2~8種。顔ワイ
プ付きも作れる

見出しを焼く

画面の上に一言。候補は字幕か
ら拾って出す

音量を揃える

マイク・ゲーム音・効果音を -
14 LUFS に統一

ユーザー辞書

固有名詞の綴りを置換で直す。
誤字を残さない

投稿文の生成

タイトルは案から選ぶ。説明文
・タグも一緒に

YouTubeへ投稿

アプリから直接。既定は限定公
開で出す

出来上がるもの

1本のショートに、これだけ入っている。

1080×1920 / 30fps。字幕も効果音も入った状態で書き出されます。



見出し

画面の上に焼く一言。候補は字幕から機械的に拾う



字幕

文字起こしから自動生成。4つの調子を場面で使い分ける



カット

喋っていない間を除いて、テンポを整える



効果音

笑い・驚き・成功・失敗・盛り上がりの5種を自動で配置



音まわり

マイクとゲーム音を混ぜて -14 LUFS に揃える

手を入れるとしても、字幕の直しくらいです。

見て、採るか捨てるかを決めるだけ。

20本並んでも手が止まらないように、この画面は判断だけを前に出しています。

常に見えているもの



見て確かめる

字幕は重ねて出るので、作り直さずに直せる



採用 / 不採用

この2つだけが常に見えている



次の未決へ自動で進む

決めた瞬間に次が出る。選び直す手間がない

採用すると、元の録画はその場で消えます（約300MB／本）。

キーだけで捌ける

J / K

前後のクリップへ

Space

再生 / 停止

Tab

次の字幕へ

⌘Enter

字幕を保存（焼くのは採用のとき）

採用と不採用にキーは割り当てていません。押し間違いだけは、戻せないので。

字幕を直すのがこの画面の主な作業。そこもキーボードだけで終わります。

速さと、預けなくていい安心

待たされない。勝手に外へ出ない。

配信の片付けをしている間に終わります。ネットが切れていても、最後まで走ります。

1本あたりの処理時間

22～27秒

M1 / 16GB・53秒のクリップで実測

20本まとめても

8～9分

配信の片付けをしている間に終わる

起動してから

2.7秒

処理が始まるまでの待ち時間

外に出るのは、あなたが決めたものだけ。

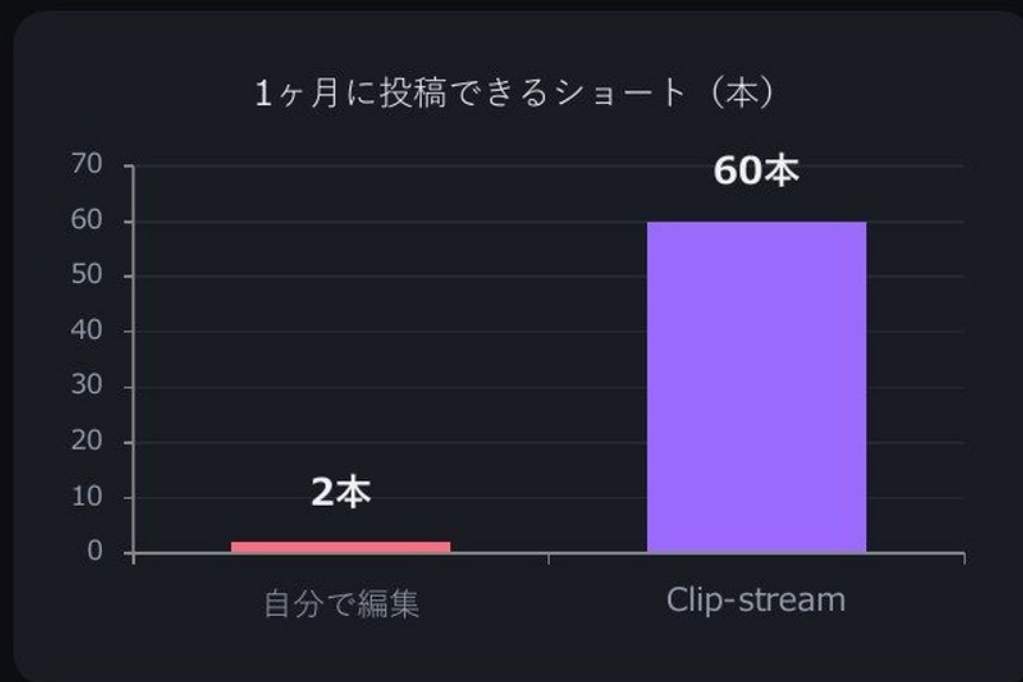
- 動画と音声は手元から出ない（YouTubeへ投稿するときだけ、出来上がった動画を上げます）
- 外に出るのは投稿文を作るときの文字だけ。それも、採用したクリップの分だけ
- 効果音は全部こちらで合成したもの。他人の素材を同梱していない

Mac・Windows の両方で動きます。

投資対効果

500円で、30時間と60本のショートが買える。

スタンダード（月500円）の採用上限は60本。自分で編集するなら30時間かかる量です。



60本を自分で編集するのは、時間的に不可能です。その不可能を、500円で可能にします。

動画を作るところまでは、何本でも。

プランで変わるのは、採用できる本数と投稿文の質、それに使えるレイアウトです。

	トライアル 無料 最後まで動くか試す	ライト 350円／月 はじめる人へ	本命 スタンダード 500円／月 いちばん使いやすい	プロ 1500円／月 毎日投稿する人へ
月に採用できる本数	3本	20本	60本	100本
タイトル案	3案	3案	5案	8案
切り口の違う案を出す	—	—	—	✓
動画に見出しを焼く	—	—	✓	✓
縦型レイアウト	2種	2種	4種	8種
テロップを自分で作る	—	—	✓	✓
考える深さ	標準	標準	高品質	熟考
できるまで	順番待ち	順番待ち	順番待ち	すぐ

どのプランでも 字幕は自動（音声は外部に送りません）／間のカット／効果音／ユーザー辞書／YouTubeへ自動投稿（回数の制限なし）／Mac・Windows 対応

採用できる本数は月ごとに戻ります。上限に達しても動画は作れます（採用だけ止まります）。

Clip-stream 最高の瞬間をクリップ

次の配信から、 切り抜きは自動になる。

編集に使っていた時間を、配信そのものに戻しませんか。
OBSで配信している方向けのツールです。

まずは無料で試す

